

答え合わせ・解説

問1	答え 3 愛媛県	愛媛県は、瀬戸内海に面した温暖な気候と、日当たりの良い傾斜地が多いという地形的条件を活かし、古くから柑橘類の栽培が盛んに行われてきました。みかんの主要産地として知られていますが、近年ではレモンの生産量でも全国上位に位置しており、広島県と共に国内の主要な産地を形成しています。
問2	答え 1 大型船の入港に適した穏やかな海に面する臨海部に、原料の輸入と製品の出荷に便利な石油コンビナートが形成されたため。	瀬戸内海沿岸は、波が静かで水深が深いという自然条件から大型船が接岸しやすく、海外からの原料輸入に頼る重化学工業の立地に適しています。戦後、この有利な条件を活かして、石油化学製品などを一貫して生産する「石油コンビナート」が形成されたことで、製造品出荷額等における化学工業の割合が他の地域に比べて高くなりました。
問3	答え 3 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため	高知県は黒潮（日本海流）の影響で冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候条件を活かし、ビニールハウスなどを用いた「促成栽培」によって、本来の収穫時期よりも早い冬から春になすを出荷しています。市場では供給が減るこの時期に卸売価格が高騰するため、そのタイミングを狙って出荷することで、農業経営の安定と高収益化を実現しています。
問4	答え 2 愛媛県 - 松山市	2021年のみかん収穫量の統計に基づくと、全国1位は近畿地方の和歌山県（約14.78万t）であり、2位が四国地方の愛媛県（約12.78万t）となっています。愛媛県は急傾斜地を利用した段々畑での栽培が盛んで、その県庁所在地は松山市です。静岡県や長崎県もみかんの主要な産地ですが、収穫量の順位や四国地方という地理的条件から愛媛県が正解となります。
問5	答え 3 ため池	瀬戸内の地域は、夏は四国山地、冬は中国山地が湿った空気を遮るため、雨が非常に少ない地域です。大きな河川も限られているため、稲作などに必要な農業用水を確保するために雨水を貯めておく「ため池」が発達しました。特に香川県の讃岐平野などには、現在も数多くの池が点在しています。
問6	答え 1 地方中枢都市として、政府の出先機関や企業の支店などが集中している。	問題文が指す都市は広島市である。広島市は中国・四国地方の地方中枢都市であり、行政機関や企業の支社が集まっている。後楽園があるのは岡山市、四国最大で小説の舞台（『坊っちゃん』）として知られるのは松山市、瀬戸大橋の本州側の起点は岡山県倉敷市であるため、他の選択肢は誤りである。
問7	答え 2 北の中国山地と南の四国山地に挟まれており、夏と冬の季節風が運ぶ湿った空気が遮られるため。	瀬戸内地方の少雨の背景には、山地による地形的要因が深く関わっています。季節風が山地を越える際、風上の斜面で雨を降らせ、山を越えた後には乾燥した空気が流れ込みます。瀬戸内は二つの山地に挟まれているため、どちらの季節風からも影響を受けにくく、結果として年間降水量が少なくなります。このため、古くからため池の造成や塩田などの土地利用が盛んでした。
問8	答え 3 香川県	日本の都道府県の中で最も面積が小さい県は香川県です。1988年に国土地理院が算定方法を見直した結果、それまで最小だった大阪府を上回る面積の小ささであることが確認されました。面積は小さいものの、瀬戸内海に面した立地を活かした工業や、都市機能の集約が図られている点が統計上の特徴です。
問9	答え 4 高速バスと自動車の利用が増加する一方で、船舶の利用者は大幅に減少した。	本州四国連絡橋（神戸・鳴門ルート、児島・坂出ルート、尾道・今治ルート）の整備により、陸路による移動の利便性が飛躍的に向上しました。1998年度から2016年度の統計数値を比較すると、高速バスの利用者は約176万人から452万人へ、自動車の通行台数は約833万台から1454万台へと大きく伸びています。その一方で、それまで移動の主役であったフェリーなどの船舶は、約708万人から187万人へと激減しており、鉄道や航空機も減少傾向にあります。
問10	答え 2 愛媛県	瀬戸内海に面した愛媛県は、年間を通じて温暖で晴天の日が多い気候特性を持っています。この気候を活かした果樹栽培、特にみかんをはじめとする柑橘類の生産が非常に盛んであり、統計データにおいても野菜産出額や工業出荷額と比較して、果実産出額が際立って高いという特徴があります。青森県はリンゴ、宮崎県はピーマンなどの促成栽培、和歌山県も柑橘類で有名ですが、資料の数値や瀬戸内の気候条件の説明から愛媛県を特定できます。
問11	答え 2 本州の岡山県と橋で結ばれており、交通網の整備によって人やものの移動が活発な香川県の県庁所在地である。	高松市は瀬戸大橋を通じて岡山県とつながっており、四国のなかでも特に本州との結びつきが強い都市です。他の選択肢はそれぞれ徳島市、松山市、高知市の特徴を述べています。四国地方の学習では、これら4つの県庁所在地の位置関係と、本州とのつながり方（ルート）の違いを理解しておくことが重要です。
問12	答え 2 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため	1988年の瀬戸大橋開通は、香川県坂出市と岡山県倉敷市を陸路で直結させました。それまでは船舶による移動が不可欠でしたが、橋の完成により自動車（自家用車や観光バス）で直接四国へ渡ることが可能になり、交通の利便性が飛躍的に向上したことが、観光客の交通手段が変化した直接の理由です。
問13	答え 2 鳥取県	中国地方は中国山地を境にして、日本海側の「山陰」と瀬戸内海側の「山陽」に分けられます。広島県や兵庫県、四国地方の香川県は瀬戸内海に面していますが、鳥取県は島根県とともに山陰地方に位置し、北側は日本海に面しています。この地理的条件により、冬には北西からの季節風の影響を受けやすいという特徴があります。